

日時：二〇一〇年五月二日(日) WE土曜第一〜聖日第二、三礼拝

主題『招きに応える』 聖書箇所：マタイ伝二二章一〜一四節

(聖書箇所)

22:1 イエスは、また、たとえを用いて語られた。

2 「天の国は、ある王が王子のために婚宴を催したのに似ている。3 王は家来たちを送り、婚宴に招いておいた人々を呼ばせましたが、来ようとしなかった。

4 そこでまた、次のように言って、別の家来たちを使いに出した。『招いておいた人々にこう言いなさい。』「食事の用意が整いました。牛や肥えた家畜を屠って、すっかり用意ができています。さあ、婚宴においでください。」

5 しかし、人々はそれを無視し、一人は畑に、一人は商売に出かけ、6 また、他の人々は王の家来たちを捕まえて乱暴し、殺してしまつた。7 そこで、王は怒り、軍隊を送って、この人殺しどもを滅ぼし、その町を焼き払つた。

8 そして、家来たちに言った。『婚宴の用意はできているが、招いておいた人々は、ふさわしくなかった。9 だから、町の大通りに出て、見かけた者はだれでも婚宴に連れて来なさい。』10 そこで、家来たちは通りに出て行き、見かけた人は善人も悪人も皆集めて来たので、婚宴は客でいっぱいになった。

11 王が客を見ようと入って来ると、婚禮の礼服を着ていない者が一人いた。12 王は、『友よ、どうして礼服を着ないでここに入つて来たのか』と言つた。この者が黙っていると、13 王は

側近の者たちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇にほつり出せ。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。』

14 招かれる人は多いが、選ばれる人は少ない。」

(聖書解説)

A (前半の話) 王は()のために人々を三回も招く。一回目は無視され、二回目は、それぞれの都合で断つた上に、使いを侮辱する者もでた。王はついに裁きを下して、滅ぼした。

B (後半の話) 王は、街角で手当たり次第に婚宴に招くことにした。客はいっぱいになったが、その中に一人だけ、()を着けていない者がいた。この者は外に放り出される。

C (結論) 招かれる人は多い。しかし()ばれる人は少ない。

D (学び) 婚宴に招かれた人々たちには、何か()的な優劣はない。誰にでもチャンスは与えられる。

E 選ばれた人は、王の招きに()した人であった。神様の召しに応えるかどうかは、私たちの責任である。そして、礼服、キリスト者に似つかわしい生き方を身につける必要がある。

メッセージポイント

他の人を) (にするという

「人生の目的」に応じる者となる。う。

参照) ガラテヤ書のニ、律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全うされるからです。

参照) コリントのニ、だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

「あなたも変わる!」 「良い知らせ」福音「

) (宣教への招きに応じる者となる。う。

参照) マルコ伝のニ、それから、イエスは言われた。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

参照) マタイ伝のニ、だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、の、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

参照) ルカ伝のニ、言うておくが、このように、悔い改める一人の罪人については、悔い改める必要のない九十九人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にある。」